

## ネギべと病及び黒斑病に対する予防防除の実証試験

当センター環境部では、南丹農業改良普及センターとのタスクチーム活動として、ネギの主要病害であるべと病と黒斑病に対する予防防除の実証試験(亀岡市内)を実施しています。

べと病では、3月中旬から4月下旬まで、週間天気予報を参考に、本病の好適感染日(日平均気温：10～20℃、降雨あり)の出現予想を基に6回の薬剤散布(写真1)を実施したところ、本病の被害をほとんど受けることも無く(発病株率：0.005%、近隣の無防除ほ場の発病株率：19%)、5月上旬に収穫を終了することができました。

黒斑病では、5月中旬に、本病の初期発生の防除に期待される薬剤のセルトレイかん注処理と定植(写真2)を実施し、今後、その防除効果を調査する予定です。また、タスクチームでは黒斑病発生の根本的な原因(排水不良による生育不良等)を解決するために、土壌改良資材の投入も検討しています。



ネギべと病に対する予防防除  
好適感染日前の薬剤散布作業



ネギ黒斑病に対する予防防除  
薬剤のかん注処理(上)と定植作業(下)